

令和3年6月24日

産学連携学会正会員各位

特定非営利活動法人産学連携学会
会長 木村 雅和

令和3年6月定期総会決議のご通知

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、本日開催の標記総会において、下記のとおり承認並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬具

記

決議事項

- 第1号議案：令和2年度事業報告
- 第2号議案：令和2年度決算報告
- 第3号議案：令和3年度事業計画
- 第4号議案：令和3年度事業予算計画
- 第5号議案：役員改選
- 第6号議案：定款の変更
- 第7号議案：令和3年度表彰者

上記の件は、原案どおり可決承認されました。

以上

特定非営利活動法人

産学連携学会・定期総会

令和3年6月総会資料

【と き】 令和3年6月24日（木）
10:00～11:30

【ところ】 オンライン会議

プロメテウスの火

人類は火とそして知恵を授かり、
しかし未来を知る能力を失った。
代わりに得たのは、希望であった。
今、私たちは破壊と創造の火を燃やす。

特定非営利活動法人 産学連携学会

2021

令和3年6月定期総会 議事資料

1. 日時：令和3年6月24日（木） 10:00～11:30
2. 場所：オンライン会議
3. 出席者数：正会員総数_____人のうち_____出席（うち表決委任者_____人）
（定款 第26条 総会は、正会員総数の3分の1以上の出席がなければ開会することはできない）
4. 議長及び議事録署名人（2名）選任：
（定款 第25条 総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する）
議 長 _____
議事録署名人 _____
議事録署名人 _____
5. 開会：議長開会宣言
6. 議事：
 - 第1号議案： 令和2年度事業報告
 - 大会の開催：令和2年11月17日～18日の日程で第18回大会（秋田大会）をオンラインにて開催した（参加者数186名、発表件数80件）
 - 学会誌の発行：学会誌「産学連携学」第16巻第2号を令和2年6月30日に、第17巻第1号を令和3年1月31日に発行した
 - シンポジウムの開催：令和2年12月10日に「産学連携学会 令和2年度シンポジウム ～Withコロナの今、オープンイノベーションの真価を問う～」をオンラインにて開催した（参加者：587名）
 - 海外学会との交流：韓国の産学協力学会との二国間比較研究については、コロナウィルス感染拡大により、現地での学术交流は制限があり、できなかったが、比較研究を進め、大会での発表や英国科学誌上での紹介を行った
 - ニュースレターの発行：今後のニュースレターの在り方について検討した
 - メールニュースの発行：第1037号～第1088号発行（52回）のメールニュースを全会員に提供した
 - 各支部活動
 - ・北海道支部：「令和2年度第9回道内4高専・道総研工業試験場・北海道科学大学研究交流会」の後援と開催協力（令和3年2月25日：オンライン開催）
 - ・東北・北関東支部：北海道支部、地域活性学会 東北支部の共催を得て、「第7回東日本カンファレンス」をオンライン開催（令和3年3月16日（火））
 - ・関西・中四国支部：第12回研究・事例発表会をオンライン開催（令和3年2月19日（金））
 - ・九州支部：「IoT、AI を活用した新ビジネスの創造～産学共同でのデジタル異業種連携戦略～」をテーマとした産学連携ネットワーク会議の開催と事業化マッチングのためのラウンドテーブルの視察（令和2年8月27日、オンライン開催）
 - 研究会活動
 - ・オープンイノベーション研究会：シンポジウムの開催支援（令和2年12月10日）およびオープンイノベーションの先行事例、支援システムの紹介等を進めるための事業検討
 - ・リサーチ・アドミニストレーション研究会：産学連携学会第18回大会オーガナイズドセッション（令和2年11月17日（火）：オンライン）、および

第12回研究会（令和3年2月25日：オンライン）の開催

- ・地域社会実装研究会：研究会の開催、第3回「ロボティクス戦略の位置づけ」（令和3年1月27日（水）：国際ファッション専門職大学名古屋キャンパス＋ZOOM）、中小企業産学連携ニーズ発掘サロンの開催（令和2年6月26日、9月29日：オンライン開催）
- ・行動経済学・社会システム研究会：産学連携学会第18回大会発表2件（令和2年11月17日（火）・18日（水）：オンライン）、研究会会合2回（令和3年3月4日、3月12日：オンライン）、サントリー文化財団研究助成に申請（不採択）
- ・日韓比較研究会：産学連携学会第18回大会発表1件（令和2年11月17日（火）・18日（水）：オンライン）、第6回日韓ワークショップの開催検討（コロナ禍において、開催は次年度以降に延期）
- 各種イベントや展示会での出展
 - ・「アグリビジネス創出フェア2020」への出展（令和2年11月11日～11月13日：オンライン開催）
- 後援事業：「アグリビジネス創出フェア2020（農林水産省主催、令和2年11月11日～13日：オンライン）」、「第21回ビジネスフェア Online」（西武信用金庫主催、令和2年11月6日～令和3年6月30日：オンライン）、「輸出管理 DAY for ACADEMIA 2020」（輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会主催、令和2年9月6日～令和2年11月30日：オンライン）の3件
- 理事会開催：令和2年4月7日、令和2年6月12日、令和2年9月25日、令和2年11月10日（全4回）

第2号議案： 令和2年度決算報告（別紙資料－1・2・3・4・5）

第3号議案： 令和3年度事業計画

- 大会の開催 第19回大会（名古屋大会）を6月3日～4日にコロナウィルスの影響拡大に鑑み、オンライン開催
- 学会誌の発行 「産学連携学」を年2回発行（今年度電子化を検討）
- 産学連携学入門の改訂版の検討
- 秋季シンポジウムの開催
- 韓国の産学協力学会との連携強化（コロナウィルスの影響を鑑み今年度はオンライン会議等による連携強化）
- ニュースレター（年2回、今年度電子化を検討）、メールニュース（随時）の発行
- 各支部活動
 - ・北海道支部：支部総会の開催（令和3年7月予定）、東日本リエゾンカンファレンス開催（オンライン形式など開催方法検討）、地域経済分析システム（RESAS）活用セミナー開催
 - ・東北・北関東支部：東日本リエゾンカンファレンスを北海道支部等と連携して開催（オンライン形式など開催方法検討）、セミナー等の開催を予定
 - ・関西・中四国支部：令和3年12月頃に第13回研究・事例発表会開催する予定（場所：未定）に加え、幹事会（令和3年12月、令和4年3月）の開

催を予定

- ・九州支部：産学連携ネットワーク会議の開催を予定

○ 研究会活動

- ・オープンイノベーション研究会：シンポジウムの開催支援及び新連携ワークショップの開催を予定
- ・リサーチ・アドミニストレーション研究会：全国大会におけるオーガナイズドセッションの開催及び研究会の開催、研究会幹事会（令和4年2月予定）の開催
- ・地域社会実装研究会：中小企業ニーズ発掘サロンの開催（令和3年7月、9月）及び研究会（令和3年12月）の開催
- ・行動経済学・社会システム研究会：研究会の開催（原則オンライン）、オンラインによる地域の調査、情報交換を随時開催
- ・日韓比較研究会：日韓比較研究の推進と研究成果の発表、日韓ワークショップの開催検討

○ 各種イベントや展示会での出展

第4号議案： 令和3年度事業予算計画（別紙資料－6）

第5号議案： 役員改選

任期満了（令和3年6月30日）に伴い、以下の通り役員を改選する。

会 長：石塚悟史（高知大学）

副会長：飯田香緒里（東京医科歯科大学）、伊藤慎一（秋田大学）、
緒方智成（熊本大学）、北村寿宏（島根大学）、
菅万希子（国際ファッション専門職大学）

理 事：内島典子（北見工業大学）、内山大史（弘前大学）、
江田英雄（光産業創成大学院大学）、小野浩幸（山形大学）、
川名優孝（東京海洋大学）、
宜保友理子（(株)慶應イノベーション・イニシアティブ）、
木村尚仁（北海道科学大学）、木村雅和（静岡大学）、
佐藤喜一（国立研究開発法人科学技術振興機構）、永富太一（香川大学）、
J. Radhakrishnan Nair（P&G イノベーション合同会社）、
馬場大輔（経済産業省）、松平竹央（知財経営研究社）、
松本毅（(一社)Japan Innovation Network）、矢野卓真（名古屋工業大学）、
山本一枝（(株)ウエザーコック）、吉用武史（高知大学）

監 事：網屋毅之（大谷特許事務所）、林聖子（亜細亜大学）

事務局長：飯田香緒里（東京医科歯科大学）

第6号議案： 定款の変更（別紙資料－7）

第7号議案： 令和3年度表彰者（別紙資料－8）

7. 閉会：議長閉会宣言

議長解任

【令和2年度役員】（令和2年6月24日時点）

会 長：木村雅和（静岡大学）

副会長：飯田香緒里（東京医科歯科大学）、石塚悟史（高知大学）、
理事：網屋毅之（大谷特許事務所）、伊藤慎一（秋田大学）、内島典子（北見工業大学）、
内山大史（弘前大学）、江田英雄（光産業創成大学院大学）、緒方智成（熊本大学）、尾関雄
治（東レ（株））、小野浩幸（山形大学）、川名優孝（東京海洋大学）、北村寿宏（島根大学）、
木村尚仁（北海道科学大学）、菅万希子（帝塚山大学）、永富太一（香川大学）、馬場大輔（経
済産業省）、林聖子（亜細亜大学）、廣田勝巳（科学技術振興機構）、松平竹央（知財経営研
究社）、松本毅（（一社）Japan Innovation Network）、矢野卓真（名古屋工業大学）、山本一
枝（（株）ウェザーコック）、李鎔璟（山口大学）

会長、副会長を加え24名

監事：川崎一正（新潟大学）、桑江良昇（北里大学）

理事 24名

監事 2名

事務局長：石塚悟史（高知大学）